

ニューカレドニア

主要データ

国名〔英名〕	ニューカレドニア〔New Caledonia〕
面積(km ²)	18,575
海岸線延長(km)	2,254
人口(人)	267,840
人口密度(人/km ²)	14.4
GDP(十億 US\$)	11.1
一人当り GDP(US\$)	37,000
主要鉱産物：鉱石	ニッケル、コバルト
主要鉱産物：地金	ニッケル、コバルト
鉱業管轄官庁	産業鉱山エネルギー局 (Direction de l'Industrie, des Mines et de l'Energie)
鉱業関連政府機関	なし
鉱業法	新鉱業法(2009年4月30日施行)
ロイヤルティ	なし
外資法	外資規制に関する第2003-196号政令(2003年3月7日付) および同政令の適用に関する省令(同日)
環境規制法 (環境影響調査制度、 環境・排出基準の有無等)	新鉱業法(2009年4月30日施行)に、環境関連の認可プロセス、 環境回復の義務等の環境保護に関する枠組みが盛り込まれた。
鉱業公社	なし
鉱業活動中の民間企業	SLN(Société Le Nickel)、SMSP(Société Minière du Sud Pacifique)、Eramet、Glencore、Vale、POSCO、Geovic Mining 等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、 労働争議、環境問題等)	特になし
2014年のトピックス	・ 2014年11月、Koniambo ニッケルプロジェクトの開業式が Hollande フランス大統領を招いて行われた。その直後に第一炉 より金属漏出が発生、生産を一時停止した。

1. 鉱業一般概況

ニューカレドニアは、1864年にGarnierite(珪ニッケル鉱)の名前の由来となったジュール・ガルニエ(Jules Garnier)によってニッケル鉱石が発見されて以来、世界的なニッケル生産地であり、2014年ニッケル鉱石生産量はフィリピン、ロシア、インドネシア、カナダ、豪州に次いで世界第6位、埋蔵量は豪州に次いで第2位(1,200万t)とされている。

近年、VNC(Goro)プロジェクト(Vale、ブラジル)、Koniamboプロジェクト(Glencore、スイス)、NMC及びSNNCプロジェクト(ポスコ、韓国)等、外国企業によるニッケル鉱山・製錬所等への新規投資が盛んになっている。また、米国Geovic Mining社によるクロム鉄鉱を目的としたミネラルサンドの探査も行われている。

2. 鉱業政策の主な動き

2015年8月、ニューカレドニア政府は旧来より取引を行っている国に対してニッケル鉱石（ラテライト鉱）の輸出を優先する方針のため、ラテライト鉱を中国へ輸出することを禁止した。中国は大部分のラテライト鉱をフィリピンと豪州から調達しているため、影響は少ないものの、ニューカレドニアの住民は中国からの投資減少を危惧して反対運動を行った。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2012年 (千 t)	2013年 (千 t)	2014年 (千 t)	対前年 増減比 (%)	世界シェア (%)
ニッケル鉱石・精鉱 Ni 金属純分量*1	131.1	150.4	178.1	18.4	8.6
コバルト鉱石 Co 金属純分量*3	2.62	3.19	2.8	-12.2	2.5

(出典) *1: World Metal Statistics Yearbook 2015

*2: USGS Mineral Commodity Summaries, 2014, 2015

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2012年 (千 t)	2013年 (千 t)	2014年 (千 t)	対前年 増減比 (%)	世界シェア (%)
ニッケル地金*2	45.4	48.4	62.0	28.1	3.2

(出典) *1: World Metal Statistics Yearbook 2015

(3) 主要金属消費量

データなし。

(4) 主要金属輸出力

表 3-3. 精鉱・地金等輸出力

鉱種	2012年 (千 t)	2013年 (千 t)	2014年 (千 t)	対前年 増減比(%)	主な輸出相手国
ニッケル					
鉱石*1	61.3	59.7	70.3	17.8	日本、韓国、 オーストラリア
フェロニッケル*1	44.9	40.3	51.8	28.5	-
マット*1	14.5	12.9	8.8	-31.8	フランス
Nickel Hydroxide- Cake NHC*2	3.2	4.4	10.7	143.2	オーストラリア、 中国、香港
Ni Oxide NiO*2	2.1	7.6	5.2	-31.6	中国、日本

(出典) *1: World Metal Statistics Yearbook 2015

*2: Direction de l'Industrie, des Mines et de l'Energie, Productions et Exportations Minières & Metallurgiques
December 2012, 2013, 2014

(5) 主要金属輸入量

表 3-4. 鉱石等輸入量

鉱種	2012年 (千 t)	2013年 (千 t)	2014年 (千 t)	対前年 増減比(%)	主な輸入相手国
鉄鉱石	0.4	0.3	0.6	100.0	インド、ベルギー、 オーストラリア
モリブデン 鉱石	0.1	0.0	0.0	0.0	-

(出典) : Global Trade Atlas

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量(千 t)	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・ Thio ・ Kouaoua ・ Népoui-Kopéto ・ Tiébaghi ・ Poum 	SLN : Société Le Nickel ---Eramet SA (56%) ---STCPI (34%) ---Nisshin Steel (10%)	Ni 鉱石 (全品位)	3,218 (wet)	生産量データは 2014 年 (出典:SLN Rapport d' activité 2014)
<ul style="list-style-type: none"> ・ Ouaco ・ Poya ・ Nakety ・ Kouaoua 	Nickel Mining Company SAS ---SMSP (51%) ---POSCO (49%)	Ni 鉱石 (全品位) サプロライト鉱 リモナイト鉱	2,190 1,839 215	生産量データは 2013 年 (出典:SMSP Annual Report 2013)
<ul style="list-style-type: none"> ・ Koniambo 	Koniambo Nickel SAS ---Glencore (49%) ---SMSP (51%)	Ni 鉱石 (全品位)	-	鉱石供給能力 500 万 t/年 鉱石供給量約 330 万 t/年
<ul style="list-style-type: none"> ・ Figesbal 	Figesbal (74.5%) SMM (25.5%)	Ni 鉱石 (全品位)	-	生産量データは非公表
<ul style="list-style-type: none"> ・ VNC (Goro) 	VNC: Vale Nouvelle Calédonie SAS ---Vale (80.5%) ---Sumic (14.5%) ---SPMSC (5.0%)	Ni 鉱石 (全品位)	2,134	生産量データは 2014 年 (出典: Vale アニュアルレポ ート 2014)
<ul style="list-style-type: none"> ・ Bienvenue 	JC Berton Mines (100%)	Ni 鉱石 (全品位)	-	生産量データは非公表

STCPI : Société Territoriale Calédoniennede Participation Industrielle

SMSP : Société Minière du Sud Pacifique

Sumic : Sumic Nickel Netherlands b.v. (住友金属鉱山株式会社 52.38%、三井物産株式会社 47.62%)

SPMSC : Société de Participation Minière du Sud Calédonien

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所 精錬所	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量(t) Ni 純分量	備考
Doniambo	SLN : Société Le Nickel ---Eramet SA (56%) ---STCPI (34%) ---Nisshin Steel (10%)	フェロニッケル ニッケルマット	55,012	生産量データは 2014 年 (出典: SLN Rapport d' activité 2014)
Koniambo	Koniambo Nickel SAS ---Glencore (49%) ---SMSP (51%)	フェロニッケル	12,600	・ 生産量は 2014 年 ・ フェロニッケル年間生産能力:176,000t (Ni 60,000t) (出典:Glencore Annual Report 2014)
VNC (Goro)	VNC: Vale Nouvelle Calédonie SAS ---Vale (80.5%) ---Sumic (14.5%) ---SPMSC (5.0%)	Ni (in NHC & NiO) Co	18,700 1,384	・ 生産量は 2014 年 (出典:Vale 各四半期 Production Report) ・ 鉱石処理量:約 400 万 t/年 ・ 年間生産能力: Ni 57,000t, Co 4,500t

STCPI : Société Territoriale Calédonienne de Participation Industrielle

SMSP : Société Minière du Sud Pacifique

Sumic : Sumic Nickel Netherlands b.v. (住友金属鉱山株式会社 52.38%、三井物産株式会社 47.62%)

SPMSC : Société de Participation Minière du Sud Calédonien



図 1. 主要鉱山、製錬所、精錬所位置図

5. 探鉱状況

ニッケル以外では、米国 Geovic Mining 社がクロム鉄鉱を目的としたミネラルサンドの探査 (Nautilus Mineral Sands プロジェクト) を行っている。

6. 我が国との関係
(1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱・地金輸出量

鉱種	2012 年	2013 年	2014 年	対前年 増減比 (%)
ニッケル				
鉱石 (千 t)	1,117.4	1,100.2	1,663.2	51.2
フェロニッケル (千 t)	34.5	29.6	27.9	-5.7
酸化ニッケル (千 t)	-	0.9	1.7	88.9
コバルト				
地金 (t)	31.3	302.5	102.0	-66.3

(出典)：日本貿易統計資料

(2) 日本企業による投資状況等

- ・ 日新製鋼株が SLN (Société Le Nickel) 社の権益 10% を保有している。
- ・ 住友金属鉱山株が、Figesbal 鉱山における 25.5% の権益を保有している。
- ・ Sumic (住友金属鉱山株式会社 52.38%、三井物産株式会社 47.62%) が VNC (Goro) における 14.5% の権益を保有している。Vale Nouvelle Calédonie SAS と Sumic は契約により、総事業費が 46 億 US\$ を超える場合、Sumic の権益を Vale Canada が買い取ることにしていたが、2010 年 5 月に VNC の開発費用が 46 億 US\$ を超えたため、2012 年 10 月に Sumic は追加出資を行わず、Sumic の権益 21% (住友金属鉱山株式会社が 11%、三井物産株式会社が 10%) を 14.5% (住友金属鉱山株式会社が 7.6%、三井物産株式会社が 6.9%) に希釈することで合意した。今後、2015 年 12 月までに商業生産が開始されない場合、Sumic の権益を全て Vale Canada が買い取る契約になっている。一方、2015 年 12 月までに商業生産が実施された場合、Sumic は希釈分の権益を当初の 21% まで買い戻すことが可能。

7. その他トピックス

- ・ 2014 年 5 月、VNC (Goro) が鉱石処理用の酸を河川に推定 100,000 リットル流出させたことと地元報道機関が報じたため、ニューカレドニア南部州知事は VNC に鉱山及び製錬所の操業停止を命じた。
- ・ 2014 年 11 月、総額 70 億 US\$ が投じられた Koniambo ニッケルプロジェクトの開業式が Hollande フランス大統領を招いて行われた。同プロジェクトは、Société Minière du Sud Pacifique (SMSP) と Glencore が共同で実施している (SMSP 51%、Glencore 49%)。
- ・ 2014 年 12 月、Koniambo 製錬所の加熱炉から Ni 溶液 500t が流出。施設外へ流出しなかったため、環境への影響は認められなかったものの、加熱炉に欠陥が発見された。加熱炉の交換が必要となったため、Koniambo Nickel は年間生産目標を 27,000t に半減した。
- ・ NMC (SMSP 51%、POSCO 49%) は 2008 年から SNNC (SMSP 51%、POSCO 49%) 所有の Gwangyang 製錬所 (韓国光陽市) にサブロライト鉱を供給している。Gwangyang 製錬所は 2015 年 3 月に第

- 2ラインが完成し、年間生産能力が30,000tから54,000tに拡大する。第2ラインの完成に伴いNMCの鉱石生産量も約1.6百万tから3.9百万tに増加する見込み。
- ・ 2015年6月、VNC(Goro)は政府との間で鉱山及び製錬所の安全な操業に関する合意に達したため、鉱山及び製錬所の操業を再開した。VNCは今後、政府や住民等による定期的な安全審査に応じることになる。

(2015.9.14 シドニー事務所 矢島太郎)